

## 研修会参加報告

## 吉田寿光 1 級審判員 (元 PR\*) を迎えての審判研修会 参加報告

\*PR=プロフェッショナルレフェリー

----- 「研修会に参加して」 サッカー3 級審判員 (コース) : 宮脇 新奈 -----



大西委員長から紹介される  
吉田 1 級審判員 (右)

この度の研修会は若手対象ということもあり、相識の間柄の方々ばかりの中だったので緊張もすることなくお話を聞くことが出来てとても楽しかったです。

吉田さんのお話はどれも興味深いもので、一時間半はあっという間に経ってしまいました。

お話の中で印象に残っているものといえば、普段行っているトレーニングの量にはとても驚きました。上を目指すにはさらに体力もつけなくてはならないのだと改めて考えさせられましたが、その分体力があれば審判を長く続けることができるのだとも知りました。

「非日常を日常に」という言葉も印象に残りました。

私は割当の前日はいつもより早寝したり栄養ドリンクを飲んだりしています。確かにそれによって効果はあるかもしれないけれど、大事なことは日常生活の中にあるのだと思います。

例えば私なら、毎朝ある部活動での朝練をほんの少し審判を意識して臨むだけでも、それを日常にすればもっと成長できるのではないかと思います。今後も焦らず活動していきたいです。

この度はこのような場を設けていただき、ありがとうございました。

----- 「研修会に参加して」 サッカー2 級審判員 : 佐々木 拓也 -----

10月21日に兵庫県サッカー協会大会議室で行われた研修会に参加させて頂きました。

今回の研修では吉田寿光 1 級審判員にお越し頂きご講義して頂きました。

吉田 1 級審判員からは「毎日が小さいブロックの積み重ねです。自分自身のサッカー観を持って負けん気で頑張りたい。最終的には何をやるにしても人間性。人間性を最大限に活かしたい。」とおっしゃられていました。



また、2005年に行われたワールドカップアジア予選ウズベキスタン代表対バーレーン代表の映像を使用した講義ではなぜこのような事が起こってしまったか。審判団ではどのような打合せをしていたか等、普段聞く事が出来ないお話を頂きました。

今回の研修で毎日のトレーニング等日々の積み重ねが大事だと改めて感じました。また、私自身体が大きい方ではありませんが、そのコンプレックスをエネルギーに変えて頑張りたいと思いました。

さらに、試合中どの様な事に注意しているか等、私自身考えた事もない事を考えながら試合に挑んでいる事を知り、もっと視野を広げた考え方、サッカーの観方をしなければいけないと思いました。

この研修会で学んだ事を今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けて頂き、有難うございました。

以上



興味深い話の連続に、人生観・人間性・サッカー観等、様々な視点から自分自身を見直すきっかけとなった研修会となりました。

吉田審判員（下段中央）と参加審判員